中学歴史プリント（書き取り）
平安時代 No.13

名前

得点 ／23

1. 『源氏物語』を書き、平安時代の国風文化を代表する女性作家は誰？
2. 894年に菅原道真の意見で停止され、その後の国風文化の発達につながった、中国へ使節を送る制度の停止を何という？
3. 平安時代初期に最澄が天台宗の総本山として延暦寺を建立した場所はどこ？
4. 平安時代初期に唐から天台宗を伝え、比叡山に延暦寺を開いた人物は誰？
5. 「この世をば わが世とぞ思う…」と詠み、当時の絶大な権力を誇示した人物は誰？
6. 平将門が乱の中で自らを称し、独立した政権を立てようとした称号は何？
7. 平安時代初期、朝廷の支配が及びにくかった日本の北東部地域を何という？
8. 平安時代中期に『源氏物語』を執筆し、一条天皇の中宮彰子に仕えた女性作家は誰？
9. 遣唐使の停止以降、中国文化を日本の風土に合わせて日本独自に発展させた文化を何という？
10. 国風文化の発展を支えた、漢字を簡略化して作られた文字を何という？
11. 平安時代に日本独自の文化が発展したきっかけとなった、遣唐使が停止された時期はいつ？
12. 平安時代後期に貴族の間で流行した、死後に阿弥陀如来の助けを借りて極楽浄土へ生まれ変わることを願う考え方を何という？
13. 紀貫之らが中心となって編纂した、日本で最初の勅撰和歌集を何という？
14. 桓武天皇から命を受け、蝦夷を服属させるために派遣された武将は誰？
15. 平安時代初期に、唐から真言宗を持ち帰り、金剛峯寺を建立した僧は誰？
16. 空海が開いた高野山の金剛峯寺が総本山である、平安時代に広まった仏教の宗派を何という？
17. 794年に山背国へ平安京を遷都し、奈良時代の政治を立て直そうとした天皇は誰？
18. 平安時代に、地方に赴任せずに京に留まったまま役職だけを持つ国司のことを何という？
19. 平安時代末期、朝廷による平定が進んだ東北地方で、独自の勢力を築き上げた一族を何という？
20. 平安時代末期、東北地方を拠点として独自の勢力を築いた一族を何という？
21. 平安時代末期、武士として初めて任命された最高位の官職を何という？
22. 939年、関東地方を拠点として朝廷に反旗をひるがえした武士は誰？
23. 清少納言が記した、宮廷の生活や自然について独自の感性で書きつづった日本を代表する文学形式は何？

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「平安時代」のプリント一覧がひらきます

答え合わせ・解説 No.13 平安時代

言えた　／23

① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説 ▼ここで折る	答え	言えた
1	紫式部は、藤原道長の娘に仕えながら、『源氏物語』を執筆しました。	紫式部	□
2	894年の遣唐使廃止によって日本は中国との公的な外交関係を絶ちました。	遣唐使廃止	□
3	比叡山は平安京（京都）の鬼門の方角にあり、都の守護を担うという意味も持っていました。	比叡山	□
4	最澄は唐へ渡り、天台宗を学んで帰国しました。	最澄	□
5	藤原道長はこの戦略を最大限に活用しました。	藤原道長	□
6	平将門は勢力範囲を支配下におくと、朝廷から認められない権力として、あえて「新皇」という称号を名乗りました。	新皇	□
7	東北地方には、朝廷の支配に従わない人々が生活しており、朝廷側は彼らを「蝦夷」と呼んで服属させようとしました。	東北地方	□
8	紫式部は、中宮彰子に仕える女房として宮廷で生活しながら、全54帖からなる『源氏物語』を執筆しました。	紫式部	□
9	国風文化は、仮名の発明による物語文学（源氏物語など）の発展や、寝殿造のような日本独自の建築様式が特徴です。	国風文化	□
10	漢字の草書体を簡略化した「ひらがな」や、漢字の一部をとった「カタカナ」が普及しました。	かな文字	□
11	894年、菅原道真の建議により遣唐使は停止されました。	9世紀末	□
12	浄土信仰は、阿弥陀仏を信じ、その名（南無阿弥陀仏）を唱えれば、死後に極楽浄土へ行くことができるという教えです。	浄土信仰	□
13	『古今和歌集』は、紀貫之らが中心となって編纂した、日本で最も古い勅撰（天皇の命令による）和歌集です。	古今和歌集	□
14	坂上田村麻呂は、桓武天皇により「征夷大将軍」に任命され、大規模な軍を率いて東北へ向かいました。	坂上田村麻呂	□
15	空海は唐で密教を学び、帰国後に真言宗を開きました。	空海	□
16	真言宗は、空海が唐から持ち帰った密教の教えに基づく宗派です。	真言宗	□
17	桓武天皇はまず長岡京への遷都を試みますが失敗し、その後794年に山背国（現在の京都）へ平安京を遷都しました。	桓武天皇	□
18	遙任（ようにん）は、国司が自らは現地に行かず、代わりに代官である「目代（もくだい）」などを派遣して統治させる形態です。	遙任	□
19	奥州藤原氏は、藤原清衡から始まる4代にわたる一族で、平泉を中心に強大な経済力と軍事力を持ちました。	奥州藤原氏	□
20	奥州藤原氏は、豊かな金の産出や馬の取引、大陸との貿易などを通じて莫大な富を築きました。	奥州藤原氏	□
21	1167年に平清盛がこの地位に就きました。	太政大臣	□
22	平将門は、関東の有力者として朝廷の支配に対して反乱を起こしました。	平将門	□
23	随筆（エッセイ）は、決まった形式にとらわれず、作者が思ったことや見たこと、季節の移り変わりなどを書き記す形式です。	随筆	□

言えなかった用語ノート